



▲スイミングスクール安来の皆さん。9人の指導者を含む14人で運営しています。

これまでに 8000 人が卒業 30周年を迎えた「スイミングスクール安来」 (吉岡町)

ピーク時には1500人が登録していましたが、現在は子ども会員が減少傾向。そんな中、今年の中・高校生7人が中国大会に出場しました。また、卒業生には国体や全国大会出場者もいます。

「水泳や水中運動などは、子どもから年配者まで幅広い層に関わることができているのが魅力です」と話すのは水泳指導員でもある佐川公敏事務局長。水中ならではの全身運動ができるからこそ、高齢者を含む大人にもプールに親しんでほしいと話します。

「プールでは泳ぐ練習をするのみとされている方が多いです。成人向けにはアクアビクスや腰痛コースなどがあります。高齢の方には介護予防のための水中運動教室をお勧めしています。浮力によって体重が軽くなる一方、適度な負荷があります。路上より水中を歩く方がいんですよ」とその効果を明かします。

30年の節目を迎えたスイミングスクール安来。佐川さんは次の時代にに向けて次のように話します。「全世代の市民の皆さんが気軽に来たいだけでなく、できる施設を目指します。プールでの健康教室など、その時代の皆さんのニーズに合った魅力あるコースを用意していきたいです」。

その一人、田中瑞季さんは元卒業生で、現在はスクールで指導員として活躍しています。「水泳で、できないことができるようになったときの喜びを知り、小学3年から高校まで通いました。今は子どもたちの目線に合わせて楽しく通ってもらえるように指導しています」と同スクールの魅力を語ります。



▲日本水泳連盟公認のプールは距離25mで6コースを取ることができます。水温は年中30度です。



夏休み前半、安来市民プールは多くの子どもたちで賑やかになります。スイミングスクール安来が開催する「夏の水泳教室」は、毎年150人が参加する人気の教室です。同プールは平成元年に完成。水温30度に保たれたプールはオールシーズン使えます。同年にはスイミングスクール安来が開校し、今年が30周年を迎えます。開校以来、通し番号となっている会員番号は8500番代。現在は

編集後記

▼松江保健所があるいきいきプラザ島根の1階では、譲渡対象となっている犬猫の紹介パネルを展示。保健所にいる犬猫と譲り受けた人との懸け橋となっています。作成したのは、保健所で保護されている犬猫の世話などをしているボランティアの人たち。生き物を大切にしようとする多くの場面で活躍されています(旬)

▼赤屋での取材を終え東比田へ。縄久利神社を過ぎると視界が開けてきます。手入れされたほ場は、雲や山と一体となり余計に広々と感じます。あるライターはこの道を通ったとき、「日本の原風景だ」と絶賛していました。くしくも取材は、この風景を守るために奮闘する皆さんの取材でした(6)

安来市の人口と世帯数 R1.7.31現在

人口合計 / 38,615人
(男:18,547人 女:20,068人)
世帯数 / 14,416世帯



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

●資源保護のため、この広報紙は再生紙を使用しています。
●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
●自治会宛の発送等につきましては、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。